

2026年3月4日

報道機関各位



## 「さわる」を通して誰もが楽しめるミュージアムを考える 春の特別展「ユニバーサル・ミュージアム」3/20～開催

平素よりご高配を賜り、誠にありがとうございます。

浜松科学館は、2026年3月20日(金)～5月10日(日)まで、春の特別展「ユニバーサル・ミュージアム “みる” がひろがる みらいーら」を開催します。本展は、国立民族学博物館 教授の広瀬浩二郎氏※1の監修する、「さわる」アート作品の体験を通して、視覚偏重になりがちなミュージアム、そして社会の再考を問いかける展示会です。これまでに九州～西日本の美術館・博物館等で同展が開催され、中部（東日本）かつ科学館では初開催となります。

浜松科学館では、2025年度から施行する第三次中期計画において、ビジョンのひとつに「DE&I※2」を掲げています。このことを実現していくためのひとつの機会に、本展がなれることを企図しました。目で見ただけではない「みる」の捉え方が広がっていく場になればと考えています。

ぜひ、取材くださいますようお願い申し上げます。

※1：広瀬 浩二郎（ひろせ こうじろう）

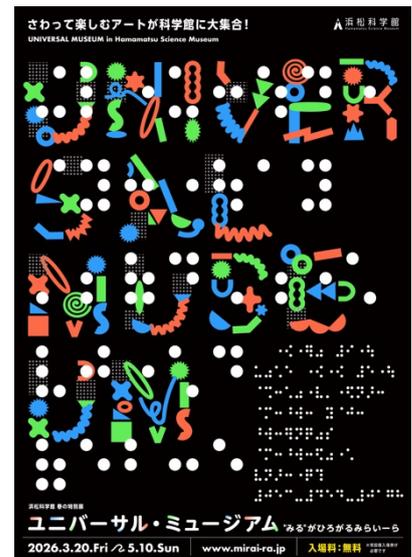
国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授。総合研究大学院大学 人類文化研究コース教授。自称「座頭市流 フィールドワーカー」、または「琵琶を持たない琵琶法師」。

1967年、東京都生まれ。13歳の時に失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年、同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。「ユニバーサル・ミュージアム」（誰もが楽しめる博物館）

の実践的研究に取り組み、「触」をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施している。2021年9月～11月、国立民族学博物館において特別展「ユニバーサル・ミュージアムーさわる！ “触” の大博覧会」を担当した（本展は現在、各地に巡回中）。最新刊の『ユニバーサル・ミュージアムから人類の未来へー「目に見えないもの」の精神史』（雄山閣）など、著書多数。2023年12月には「令和5年度文化庁長官表彰」を受ける。

※2：DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）

多様性（ダイバーシティ）、包括性（インクルージョン）に、エクイティ（公正性）を加えた概念。多様性を認め、それぞれの属性や状況（年齢、性別、文化、国籍、民族性、宗教、障害、階級、収入等）による機会取得の不都合がないこと（公正であること）を目指す考え方。

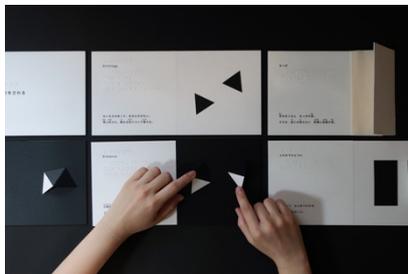


## 1.会場・作品

浜松科学館ホールをメイン会場に、常設展の一部（1F・M2F）にも作品を展示します。

ホール内は暗いエリア・明るいエリアに二分され、それぞれで異なる「さわる」体験をいただけます。

0～4の5つのセクション別に、これまでの会場で展示されてきた作品約50点を浜松で再編集して展示。いずれも「触って感じる」ことのできるアート作品です。



### 出展作家

株式会社ミライセンス／冨長敦也／わたる（石川智弥＋古屋祥子）／片山博詞／株式会社三木製作所／北川太郎／松井利夫／戸坂明日香／前川紘士／宮本ルリ子／高見直宏／堀江武史／ユニバーサル・ミュージアム研究会＋滋賀県立陶芸の森／島田清徳／守屋誠太郎／大塚オーミ陶業／田代雄一／岡本高幸／渡辺泰幸／日本点字図書館／芦屋大学／桑田知明／真下弥生／中村宏／広瀬浩二郎／わらべ館（制作：若林孝典）／国内の各出版社／株式会社ゼネラルアサヒ

### 大阪・関西万博で出展「ふしぎな石ころ」の体験

2025年 大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「Better Co-Being（通称：ベタコ）」で話題となった「ふしぎな石ころ（ユニバーサルハプティクスデバイス“echorb”）」が浜松科学館にやってきます。最先端の科学技術が生み出す、ぶるぶる、つるつる。触れて、感じて、だれかと分かち合う。心で触れるふしぎな体験を感じてみてください。（提供：株式会社ミライセンス）



## 2.館内関連企画

会期中、館内で関連企画を開催します。広瀬氏によるギャラリートークのほか、出展アーティストによるワークショップ、一部館内プログラムへの展開（サイエンスショー、展示ツアー）等を行います。

| 企画名                            | 開催日  | 時間   | 講師                    |
|--------------------------------|--|--|-----------------------|
| 春の特別展ギャラリーツアー                  | 3月20日(金)<br>5月10日(日)                               | ①10:30～11:30<br>②13:00～14:00                 | 広瀬 浩二郎 氏 (国立民族学博物館教授) |
| Love Stone Project みらいーら (予約制) | 4月5日(土)  | ①10:00-11:30<br>②13:00-14:30                 | 富長敦也氏 (彫刻家)           |
| 彫刻の居場所を見つけるWS(予約制)             | 4月25日(土)   | ①10:30-11:30<br>②13:00-14:00<br>③15:00-16:00 | 北川太郎氏 (彫刻家)           |
| さわる！展示ツアー                      | 3月28日(土)・29日(日)<br>4月29日(水)<br>5月2日(土)・3日(日)<br>ほか | 13:30～14:00                                  | 浜松科学館職員               |
| さわる！サイエンスショー                   | 3月28日(土)・29日(日)<br>4月29日(水)<br>5月2日(土)・3日(日)<br>ほか | 13:00～13:30                                  | 浜松科学館職員               |

## 3.市内文化施設との連携

浜松市内の5つの文化施設と連携し、会期中、本展の趣旨に関連した取り組みを各所で行います。地域において、さまざまな「みる」の広がりが感じられることを意図しています。

| 企画名                                    | 開催日   | 時間                                       | 主催・会場                                |
|--|---|--|--------------------------------------|
| ごしごし、ごりごり 昔の道具体験                       | 3月24日(火)  | 9:30～11:30                               | 浜松市博物館                               |
| 映画「手でふれてみる世界」上映会 & トーク (予約制)           | 4月26日(日)  | 13:30～16:15                              | 主催：浜松市鴨江アートセンター(共催：浜松科学館)、会場：木下恵介記念館 |
| さわって“みる”本、“きく”読書 (図書展示、読書バリアフリー体験会)    | 3月27日(金)～<br>4月22日(水)<br>※読書バリアフリー体験は<br>4/19のみ | 開館時間中<br><br>※読書バリアフリー体験<br>は14:00～16:00 | 浜松市立中央図書館                            |
| ワークショップ「見て、学んで、描いてみよう！はじめての日本画体験」(予約制) | 4月25日(土)  | 13:30～15:30                              | 浜松市美術館                               |

#### 4.オリジナルグッズ・関連商品の販売

本展メインビジュアル制作をおこなうデザイナー・桑田知明氏によるオリジナルグッズ3点(写真左)のほか、点字パネル制作で協力をいただいている「NPO 法人六星」様から買取した商品や関連書籍等の販売を行います。



#### 5.監修・広瀬氏のコメント

未来は誰も見ることはできない。だからこそ僕たちは手を伸ばし、足を踏み出して、全身で未来へ突き進む。人類は多様な手段を駆使して実験・体験を積み重ねてきた。そんな豊かな「験」が「見」に限定されるようになったのはいつ、なぜなのだろうか。科学とは、見えないものを見えるようにすること。でも、どんなに科学が進歩しても、見えないものがあることを忘れてはなるまい。科学館は「見学」するだけの施設ではない。多彩な物・者との対話を通して、十人十色の「験」を楽しもう。

触れてみる・調べてみる・話してみる・歩いてみる・繋げてみる。僕たちの「実体験」を育む「みる」の連鎖がひろがる。浜とは海と陸が出会う共生の場。海と陸が接触し、触発が生まれる。松とは永遠の命、生命力の象徴。科学館ならではの「ユニバーサル」の松明を高らかに掲げよう。浜松から世界へ、僕たちの不可視の未来が動き始める！



## 6. 内覧会及び「触覚文化コンソーシアム」シンポジウムのご案内

下記日程にて、プレス・関係者様向けの内覧会を開催します。また、関連イベントとして「触覚文化コンソーシアム キックオフ・シンポジウム」を開催いたします。ぜひお越しくださいませよう、お願い申し上げます。

### 春の特別展「ユニバーサル・ミュージアム」内覧会

日時：2026年3月19日(木) 14:00～17:00（時間内で自由にお越しください）

### 触覚文化コンソーシアム キックオフ・シンポジウム

|        |  |
|--------|--|
| 日時     | 2026年3月19日(木) 18:00～21:00  |
| 内容     | 18:00～19:45 シンポジウム<br>20:00～21:00 懇親会<br><br>昨年の大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」で話題となった「ふしぎな石ころ echorb」は、人の鼓動やリズムを“触覚”として感じ合う体験を通じて、「身体で世界を感じる」という新しい感覚のあり方を提示しました。本シンポジウムは、展示や技術の成果発表を目的とするものではなく、触覚を単なる身体感覚としてではなく、他者や環境、世界へと開かれた「触角」として捉え直し、分野や立場を越えた対話を通じて、今後の関係性や実践の可能性を探る場です。 |
| 登壇者    | 広瀬浩二郎（国立民族学博物館 教授）<br>安藤正道（株式会社村田製作所 執行役員）<br>中山誠基（触覚文化コンソーシアム）  |
| モデレーター | 西村 真里子（HART CATCH 代表）  |
| 対象     | 企業関係者・浜松科学館サポーター会員 ほか（一般参加不可）  |
| 備考     | 取材可能です   |

## 7. 概要

|           |  |
|-----------|--|
| 1 名称      | 浜松科学館 春の特別展<br>「ユニバーサル・ミュージアム “みる” がひろがる みらいーら」  |
| 2 日時      | 2026年3月20日(金)～5月10日(日) 9:30～17:00<br>※休館日は閉場   |
| 3 場所      | 浜松科学館 みらいーら 1F ホールおよび常設展 (浜松市中央区北寺島町 256-3)  |
| 4 入場料     | 無料 (常設展入場券の提示が必要)<br>※常設展入場料 : 大人 600 円 高校生 300 円 中学生以下・70 歳以上 無料  |
| 5 内容      | 約 50 点の「さわる」アート作品の展示および関連企画の開催   |
| 6 Web ページ | <a href="https://www.mirai-ra.jp/event/40402/">https://www.mirai-ra.jp/event/40402/</a>  |
| 7 協賛 等    | 協賛 : 株式会社村田製作所、株式会社ミライセンス、株式会社丹青社<br><br>協力 : NPO 法人六星、浜松市鴨江アートセンター、木下恵介記念館 (浜松市旧浜松銀行協会)、浜松市立中央図書館、浜松市美術館、浜松市博物館<br><br>後援 : 静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、NHK 静岡放送局、K-MIX、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、テレビ静岡、浜松商工会議所 |
| 8 備考      | 車でお越しの場合は館内駐車場をご利用いただけます。事前にご一報ください  |

### 本件についてのお問い合わせ

浜松科学館 PR チーム

Tel : 053-454-0178 E-mail : pr@mirai-ra.jp